



未来

第26号

平成25年
5月1日

2013年 新入職員を迎えて



今年、東日本で大雪に見舞われましたが、3月中旬より急に気温の上昇があり、平和公園の桜が満開になりました。また去年の暮れには政権交代があり、アベノミクスで景気は少し改善傾向にある様です。

新年度を迎えるにあたり、今回、新たに消化器外科医長である宮本勝也医師を診療部長として昇任させ、外科の紹介患者の増加に積極的に努力していただく事としました。

平成25年度の医療体制として、産婦人科の中野先生が呉医療センターへ転職され、以前お助けいただいていた、本田先生が週2日外来診療の応援に来られます。放射線科は診断医の不足から、秦先生が広島市民病院へ転職され、大学から週2日の応援がありますが、画像診断を外注(エムネス)に依頼せざるを得ない状態です。外

科は、当院のNST活動を本格的に推進していただいた矢野先生が、広島大学大学院に帰られます。そして卒業4年目、岡田先生が後期研修医として入職されます。循環器内科は以前、広島赤十字・原爆病院の循環器科部長であった山田先生が4月より週2日外来診療の応援に来てくださり、5月からは常勤として勤務されます。小児科は広島赤十字・原爆病院の小児科部長の西先生が、週1日(火)午後、小児の成長障害、夜尿症等で応援していただくことになっております。又、2月からは金本先生が新しく眼科医長として就任されており、緑内障の治療も始まっています。

その他の職員として、薬剤師3名、放射線技師(女性)1名、看護部には助産師3名、保健師6名、看護師15名が、新入職員として加わっていただきました。(非常勤職員含む)

2025年に向けて、日本の医療は大きく変化しようとしています。広島県においても、県知事は医療行政について、新たな構想を始めつつあります。広島記念病院の医療は、消化器疾患および癌にさらに特化して、こだわりのある専門医療を目指し、継続して職員全員が自分の受け持ち業務の品質を向上させていくしかありません。常に患者優先(a patient is first)に考え、対応していく医療を目指していく所存です。

就任挨拶



広島記念病院
診療部長 宮本勝也

この度、4月1日付で診療部長に就任致しました。平成6年11月に広島大学病院第一外科から当院外科に就職して以来、すでに18年半が経過しています。その間、前院長 増田哲彦先生、現院長 中井志郎先生には公私ともにご指導いただき、現在の私があるのも両先生のお導きのお陰と大変感謝しております。

さて当院は消化器疾患、婦人科疾患に特化した中規模急性期病院ですが、厚労省主導の医療の集約化、専門化の流れを受けて、当院としての役割を明確化しなくてはならない時期にあります。今回の新たな中期計画では、当院は都市型地域支援病院、がん診療支援病院を目標としています。今まで培ってきた開業医との連携を更に強いものにし、広島記念病院しかできない細やかな、小回りの利く医療を展開したいと思います。がん治療においては、今まで行ってきた消化器がんに対する治療技術を更に高めるとともに、抗がん剤治療、緩和ケアなど治療開始から終末期まで総合的にがん患者さんを診られるフレキシブルな病院でありたいと思います。また外科医としては、より根治性が高く、低侵襲、安全な手術を目指して腹腔鏡手術の適応拡大を図っていきたいと思います。そのためにはチーム全体のレベルアップが必要であり、新たな改革を行っていきたいと考えています。

私のモットーは笑顔です。笑顔のない病院には明るい未来はありません。患者の皆様が、そして職員のみなが笑って過ごせるような病院こそ、誰からも愛される癒しの心をもった病院だと思っています。少しでもそれに近づける様、頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



眼科 金本 尚志

平成25年2月より眼科常勤医です。

専門は緑内障ですが、眼科一般・糖尿病性網膜症・網膜循環障害・白内障・緑内障全ての眼科疾患に対応する検査・手術・治療システムが整っています。

よろしくお願いいたします。



内科 山田 朗

この度はお世話になります。

九州大学卒業後、もう何十年も循環器疾患の診療に携わってまいりました。

再びアカデミックな環境になり新たな決意で本院の為に頑張る所存です。

皆様どうぞ宜しくお願いします。



小児科 西 美和

小児内分泌疾患(特に低身長・成長障害、肥満症)、夜尿症を専門とし、広島赤十字・原爆病院小児科在任中の28年間で成長障害患者約7,600人、夜尿症患者約3,000人の診療にあたってきました。

広島記念病院小児科でも、主として低身長・成長障害、肥満症、夜尿症の診療に当たり、微力ながら病院に貢献したいと思っています。 よろしくお願いします。

さくら内科・循環器科

佐倉 英一郎先生



1) 開業されたのはいつですか

平成18年2月1日です。

2) どのような患者さまが多く受診されますか

高血圧・狭心症の患者さんをはじめとして、糖尿病や脂質異常症などの生活習慣病の方が中心です。高齢者の方が多いですが、動脈硬化の若年化につれ40代～60代の方もおられます。

3) 先生は往診もされていますね。

木曜日と土曜日の午後に往診しています。今は5人程度ですが今後増やしてゆきたいと思います。調子を崩して食事が取れない等連絡があったときに点滴などもしています。

4) 日々の診療で心がけておられる事はなんですか。

開業医は患者様の日々の生活管理をしてあげるのが役目だと思っています。

ご高齢の患者様は不安な気持ちの方も多く、丁寧に優しく診療するように心がけています。

5) 広島記念病院はどんな存在ですか。

検査も入院も依頼すれば迅速に対応していただけるのでとても助かっています。

患者様が緊急の時に、時間外でもスムーズに診てもらえ、心強く思っています。患者様は何か異変があったときの事を不安に感じている方も多く、24時間対応できるようにしたいが、なかなか困難で、そういうときに記念病院にサポートしてほしいと思っています。



記念病院が近くにあるので、安心してなるべく患者さんを長く在宅で診てあげることが出来ます。今後はさらにネットワークを強化して、在宅を希望する患者さんになるべく長く家で過ごせるように日々の診療を私たちが頑張っ、しんどくなったら記念病院に入院する、落ち着いたら早めに退院するという流れがスムーズに出来るようになったらいいですね。

交通アクセス

さくら内科・循環器科
〒730-0802 広島市中区本川町1-1-26-2F
TEL(082)503-2233 FAX(082)503-2234
広島電鉄 広島電鉄2系統(広島駅-宮島口)、3系統(西広島-広島港)、6系統(広島駅-江波)に乗車の上、本川町駅南に徒歩1分。
駐車場 1Fに3台分の駐車スペース有り(あいおい橋薬局横)。

診察時間

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前 8:30~12:30	●	●	●	●	●	●
午後 3:00~6:30	●	●	●	△	●	2:00~5:00

休診：木曜午後・日曜・祝日

堀江 医院

堀江 正憲先生

1) 開業されたのはいつですか。
昭和21年7月に父が現在地に開業し、昭和57年9月に父の後を継いでいます。



2) どのような患者さまが多く受診されますか、また日々の診療で心がけておられる事はございますか。

町の普通の開業医です。町のお年寄りの方、会社員の方、子どもさん、地域の皆様各年齢

の方がお来しになります。本人・家族の「医療のよろず相談医」です。

広島に帰り、身体の不自由な祖母を8年、母を10年、自宅で看取りました。

患者様を家族と思っています。世間話をしながらも真剣に診察をしております。地域のお世話もしており、「プライマリ・ケア医」です。

3) 記念病院はどんな存在ですか。

いつも安心して診療ができるのは、入院・検査が必要な時、広島記念病院と医療連携があるからです。

大切に医療連携を続けていきたいと思っています。

お忙しい中取材に伺わせていただきましたが、医師会理事や、地対協での活動など多岐にわたるご活躍をしてこられたお話お聞がきすることができました。

ありがとうございました。



診療時間

月	火	水	木	金	土	日	祝
09:00-12:00	09:00-12:00	09:00-12:00	09:00-12:00	09:00-12:00	09:00-12:00	-	-
16:00-18:00	16:00-18:00	16:00-18:00	16:00-18:00	16:00-18:00	-	-	-

休診日：日

※ 1月1日、1月2日、1月3日、8月14日、8月15日、12月31日

地域医療従事者研修

2月地域医療従事者研修会報告書

日時：H25年2月14日(木) 19:00～20:00

テーマ：「内服抗がん剤の副作用マネジメント」

講師：広島記念病院 薬局長 古元 俊徳

参加数：院外3名、院内41名、計44名

今回の地域医療従事者研修会はクリニカルパス委員会企画で研修会を開催した。

はじめに、クリニカルパス委員長の宮本医師から、①内服抗がん剤は、かかりつけ医投薬で行っていること②術後1年から2年に抗がん剤を投与していない患者が未受診になる率が高いことが検討課題になっているなど、大腸癌術後連携パス対象患者の検証結果の報告があった。また、術後補助化学療法に推奨される投与期間が6カ月になったことから、今後連携パス内容を変更していくことを説明した。

その後、古元俊徳薬局長より、胃がん・大腸がん術後使用する内服抗がん剤の副作用マネジメントについての講義を行った。連携パスに設定しているUFT TS-1 UFT/ユーゼル ゼロード についての作用・副作用・服用方法の注意点を説明した。患者セルフケアを向上し、主体的に治療ができるように「患者用説明書」も充実している。

患者・家族を中心に、薬剤師・かかりつけ医と連携を充実して、骨髄抑制・肝機能障害・下痢・口内炎・手足症候群など副作用のマネジメントを行い治療効果や副作用に対する対応を丁寧に行っていく為の知識を習得する研修会になった。



日時：H25年2月21日(木)18:30～20:00

テーマ：「切除不能進行胃癌の一解剖例」

担当医： 内科医師 松本 健太

病理担当医：広島大学 浦岡 直礼 先生

県立広島大学 嶋本 文雄先生

参加数：院外3名、院内20名、計23名

今年度のCPC検討会は上記のテーマで検討会が行われました。はじめに、当院の松本医師が、患者の背景・各種検査のデータ・治療経過・臨床経過を説明しました。その後、病理の担当である浦岡先生から病理解剖の解説が行われました。内視鏡画像所見 放射線画像 抗がん剤により細胞の変化等に対する討議を行った後、嶋本先生からコメントを頂きました。

御身体を提供して下さった患者様・ご家族の方へ感謝し、今後の医療に役立てていく検討会でした。



3月地域医療従事者研修会報告書

日時：平成25年3月7日(木) 19:00～20:10

テーマ：「消化管間質腫瘍（GIST）の臨床」

講師：広島記念病院 消化器外科医長兼内視鏡外科医長 宮本 勝也

参加数：院外12名、院内28名、計40名

今回の地域医療従事者研修会は、消化器外科医長兼内視鏡外科医長の宮本勝也医師が、「消化管間質腫瘍（GIST）の臨床」について講義を行った。総論から始まり、当院で2003年から2012年までの手術を行った症例の経過を説明しながら進めていった。

- ① GISTは消化器の「癌」とは由来が異なり、胃・小腸などの粘膜下に発生する。
- ② 癌とは性質がことなることを、内視鏡画像・発生場所・性質・リンパ節転移・浸潤傾向・腹膜播種した場合の腹水の有無を比較して説明していった。
- ③ GISTは、粘膜下のカハールの介在細胞（特殊な細胞）が由来で、KIT蛋白の異常が主な原因でc-Kitという遺伝子の変異により起こる。
- ④ 発生した部位によりリスクに大きな違いがある。
- ⑤ 治療は、手術は基本で第一選択である。
- ⑥ 術後のグリバックの長期内服で生存期間の延長が認められている。
- ⑦ グリバック・スーテントの副作用とその対策について

以上の総論の後には、宮本医師の手術した患者様の経過を、CT画像 内視鏡画像 切除標本を提示し説明し、途中、手術映像を取り入れて説明し、大変分かりやすく進められた。

実際の治療では、単価の高い内服薬を長期間服用する為、経済的理由で中止する方がおられる報告があり、その後、薬剤の値段と実際にかかる医療費について具体的に説明された。治療を続けることができることで生存期間に大きく差があるので、医師と共に、医療費相談を充実させることは、患者様を支えること・QOLを低下させないことに繋がり重要であることを伝えていた。参加した院内の参加者は、各部署が連携をとって患者様を支えていくことを再認識出来た研修会になった。



平成25年度地域医療従事者研修計画

	開催日	演題・研修内容等	講師	
			所属	氏名
1	4月25日	広島記念病院におけるピロリ菌除菌治療 ～これまでの成績と今後の動向～	広島記念病院 内視鏡医長	田村 忠正
2	5月30日	当院における腹腔鏡下大腸癌手術の治療成績 ～根治性・低侵襲性・安全性の向上をめざして～	広島記念病院 診療部長	宮本 勝也
3	6月20日	『放射線防護』医療安全対象委員会	長瀬ランダウア株式会社 大阪営業所 所長	飯田 泰二
4	7月4日	一般医に知っておいてほしい婦人科的知識 下腹部・腹部膨満を呈する疾患 遺伝性癌疾患・HPVワクチン・妊婦に行っている検査	婦人科医長	横田 康平

第3回 健康教室 報告書

日 時：平成25年2月22日(金) 14:00～15:00

テーマ：更年期をバラ色に ～更年期障害の予防と対策～

講 師：広島記念病院 婦人科医長 横田 康平

地域の方々が「健康で生き生きと暮らせる街づくり」に貢献していく広島記念病院として取り組んでいる健康教室です。はじめに、昨年予定していた健康教室が、横田医師が事故の為にできなかったことや先生自身の患者体験や経過をお話しされた。改めて、健康の大切さを参加者みんなで確認して講義がはじまった。

女性雑誌には、たびたび更年期障害について掲載されていますが、生まれてから老人になっていく経過をエストロゲンと黄体ホルモンの分泌の変化によってどうなっていくのかを、実際の講義を聞くことで正しく理解できたと思います。ホルモン療法をする利点と注意点の説明を受け、医師の指示のもと正しく治療することが大切であることがよく分かった。

参加者の中には、自分は、更年期は過ぎた年齢だけど周りの人の役にたてばと思い参加しましたという方もおられた。女性だけでなく、「生き生き過ごせる街づくり」に貢献していきたいと思う研修会でした。

最後に協賛の本川地区女性連合会会長の田中八重子様から復帰された横田医師に花束を頂き、温かい雰囲気での健康教室でした。



広島記念病院 第1回 公開講座報告書

日 時：平成25年4月9日(火) 14:00～15:15

テーマ：「大腸がん検診について」

講 師：広島記念病院 診療部長 隅井雅晴

参加数：56名 院内参加者は除く

がんは診断と治療の目覚ましい進歩により、検診で早期に発見された場合は、多くの方が治るようになってきました。広島県は、「がん検診に行こうよ」推進会議が設立され、がんを身近なものとして捉え、がん検診の重要性についての意識が高まり、がん検診の受診率向上につながる普及活動を行っています。

広島記念病院も公開講座を行い、専門医 診療部長の隅井雅晴が、「大腸がん検診について」について公開講座を開催いたしました。この取り組みを行うことで、診察室ではなかなか聴くことのできない具体的な検査方法や予防法の話が聴くことができました。



栄養科

管理栄養士 北野 旭美



栄養科は、管理栄養士2名と広鉄二葉サービス職員12名（管理栄養士2名、栄養士3名、調理師3名、調理員4名）で日々の業務を行っております。

①給食業務

当然の事ですが、365日休むことなく食事を提供しております。調理業務、発注業務、一部の事務作業は、広鉄二葉サービス(株)に業務委託しております。調理はベテラン調理師、元洋食のシェフが中心となって行っており、「記念病院

の食事はおいしい」と患者様にも、まずまずの評価をいただいております。

食事は、常食、軟食の他に、治療食としては糖尿病食、肝臓病食、腎臓病食など病態に合わせて提供しております。化学療法等で食欲がない患者様には嗜好調査を実施し、できる範囲で食事の調整を行っております。

咀嚼障害、嚥下障害を有する患者様には食形態にも配慮しております。最近、特に力を入れているのは「ムース食」です。咀嚼障害や嚥下障害を有する患者様には、これまでは全てを一緒にミキサーにかけたペースト状の食事を提供して

きましたが、味や見た目が悪く、食欲をそそるものとは言い難い食事でした。「障害があるから仕方ない」ではなく「障害があっても食べる楽しさを感じてもらうにはどうすれば良いか」を考え、素材ごとにムース状にすることで味や見た目をなるべく普通食に近づけた食事にしております。

食事には「栄養」と「楽しみ」という2つの役割があります。療養上、この2つはどちらも同じくらい大切なことと考えています。より満足していただける食事を提供できるよう日々精進していきたいと思っております。



②栄養相談業務

医師の指示のもと、外来患者様、入院患者様に栄養相談を行っております。日々の食事内容の確認、病状やライフスタイルに合わせた食事内容の提案をさせていただいております。また、それぞれの状態に合わせた栄養補助食品の紹介も行っております。

③栄養管理業務

栄養サポートチーム(NST)の一員として、医師、看護師、薬剤師等、多くの専門スタッフと共に入院患者様の栄養改善に向けて取り組んでおります。全患者に対して入院時に栄養評価を行い、その結果が中等度以上の栄養不良と判定された場合には定期的にアセスメントを行っております。

以上の業務以外では、褥瘡対策委員会、緩和ケア委員会、クリティカルパス委員会等の各種委員会に所属し、専門の立場から提言をさせていただいております。また、栄養に関する情報発信として「こんにちは!栄養科です」の発行を行っております。当院ホームページより閲覧できますので、是非ご覧ください。

最後に栄養科の理念をご紹介します。

おいしく食べていただき、治療の一環として機能する食事を提供する。

栄養・食事相談を通じて入院患者様や地域住民の健康の維持・増進に貢献する。

以上、栄養科の紹介でした。



臨床検査精度管理成績優秀施設表彰 (広島県医師会主催)

中央検査科広報担当 永田拓生



この度、平成25年2月24日に行われました第32回広島県臨床検査精度管理向上研修会において、成績優秀施設の表彰を受けました。これは昨年実施された広島県臨床検査精度管理調査において、参加した168施設の中から成績上位の施設が表彰を受けるものです。毎年の調査検査項目は管理試料の測定(生化学、血液、輸血検査など)やフォトサーベイ(病理や血液などの形態学的検査や生理検査など)が行われています。

臨床検査における精度管理は、毎日の機器メンテナンスやコントロール測定管理など院内で実施する内部精度管理と、臨床検査関連団体が個々の検査施設を対象に共通条件のもとに広域で測定結果を調査する外部精度管理があります。当検査科では、今回を含め年3回程度の外部精度管理に参加しております。また、標準化事業にも積極的に参加しています。今回の表彰を糧に、今後もさらなる検査精度並びに職員一人一人のレベル向上をめざし、臨床や患者様へ貢献できる様努めてまいります。

H25年度 新採用者宿泊研修

研修担当者 千代延 篤志

H25年3月16日～3月18日の3日間、宮島包ヶ浦自然公園にて新採用者宿泊研修を行いました。この研修は、毎年4月1日より採用される新採用職員全員を対象に、①人と人とのかかわりを通して自己をみつめ、仲間作りの土台とする。②専門職能を高めるために相互の啓発に役立つグループ作りをする。③コミュニケーションマナーを身に付ける。以上のことを目的とし、昭和56年より始められた当院伝統の宿泊研修です。

今年度は、看護師25名・薬剤師3名・研修担当者7名の総勢35名が研修を行いました。

研修初日、外部講師を招いた「社会人としての心構え」の講義から始まり、手作り名刺による自己紹介、3日間の研修中のそれぞれの担当者などを、グループ毎に決めてもらいました。

2日目は良い天候に恵まれ、宮島弥山への登山を行いました。道中きつい道もありましたが、見事完登することが出来ました。その日の夜は全員でバーベキューです。登山の後に食べるバーベキューは格別なものでした。

3日目はKKR広島で、閉校式・交換会・懇親会を行いました。配属先の発表や先輩からの職場紹介などあり、4月からの仕事に対する気持ちが、より高ぶったのではないかと思います。

今回の研修を通し、すばらしい同期・仲間ができたと思いますので、今後辛いことや苦しいことがあれば、是非仲間を頼ってみてください。きっと力になってくれると思います。

そして今回の研修で培った絆を大切に、4月から記念病院の新しい力として頑張ってください。



広島記念病院「理念」「憲章」

理 念

患者の皆様が、安心して受診できる、やすらぎの環境及び満足と信頼が得られる最良の医療サービスを提供する。

憲 章

1. 私達は、「癒しの心」を医療の心として職務に専念します。
2. 私達は、患者様の人権と意思を最大限に尊重し、納得と同意に基づいた全人的医療を目指します。
3. 私達は、日々自己研鑽に励み、良質で温もりのある、地域に密着した医療を心がけます。
4. 私達は、地域医療体系に参加し各々の持てる機能の連携により、より合理的で効率的な良質の医療に努めます。

地域医療連携室

TEL 082 (503) 0730

FAX 082 (503) 1010

代表 広島記念病院

TEL 082 (292) 1271

FAX 082 (292) 8175

庶務課

TEL 082 (503) 1001

内科・外科

FAX 082 (503) 0722

産婦人科・小児科

FAX 082 (503) 0723

耳鼻科・皮膚科・泌尿器科

FAX 082 (503) 0731

4病棟

FAX 082 (503) 1014

5病棟

FAX 082 (503) 1015

6病棟

FAX 082 (503) 1016

7病棟

FAX 082 (503) 1017

8病棟

FAX 082 (503) 1018

外来診療担当表

平成 25 年 4 月 30 日現在

診療科	受付時間	区 分	月	火	水	木	金	土
内 科	8:30~11:00	一 診	隅 井	山 田	隅 井	隅 井	津 賀	当 番 医
		二 診	江 口	田 村	津 賀	江 口	田 村	
		三 診	炭 田	児 玉	炭 田	児 玉	山 本	
		四 診				山 田		
総合診療科 (4/2~1階)	8:30~11:00		横 崎		串 畑		休 診	
外 科	8:30~11:00	一 診	藤 本	中 井	藤 本	宮 本	中 井	当 番 医
		二 診	宮 本	横 山	坂 下	横 山	坂 下	
	13:00~14:30		藤 本	中 井			中 井	
産婦人科	8:30~11:00	一 診	本 田	吉 本	横 田	吉 本	横 田	休 診
		二 診	吉 本	羽 原	本 田	羽 原	羽 原	
	13:00~14:30	一 診	横 田	手 術		手 術	吉 本	
小 児 科	8:30~11:00	一 般 診 療	岸	岸	岸	岸	岸	
	13:00~13:30	小児・予防接種	予 防 接 種	乳児健診(予約)	1ヶ月健診(予約)	予 約 検 査	予 防 接 種	
	14:30~16:00	一 般 診 療	藤 井	藤 井		岸	広大医師	
	14:00~16:00	成長障害・夜尿症		西				
耳鼻咽喉科	8:30~11:00	一 診	長 田		長 田		立川、又は杉本	
		二 診						
皮膚科	8:30~11:00		河 合				森 桶	
泌尿器科	8:30~11:00			井 上			宮 本	
眼 科	8:30~11:00	一 診	金 木	金 木	金 木	金 木	三 浦	
		二 診		藤 東		藤 東		
	午後(予約のみ)	手 術	検 査	手 術	検 査			
広島記念診療所 歯 科	8:30~11:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	電話番号 294-7858
	13:00~16:00		山 田	山 田	山 田	山 田	山 田	

* (注) 土曜日は休診ですが、内科一診、外科一診は診察しております。

歯科を除く各科とも再診は7:30から受付ています。

部分には女性医師です。

広島記念病院案内図



交通のご案内

JR 広島駅より市内電車宮島行き・己斐行・江波行にて、
本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分
広島バス商工センター行き・祇園大橋行きにて
本川町電停下車、南へ100メートル徒歩1分
広島駅前よりタクシーで約10分

駐車場

立体駐車場 72 台、平面駐車場 10 台

身障者専用駐車場 3 台

詳細は病院ホームページをご覧ください